

2016年3月期(第116期) 決算説明資料



証券コード:3526

2016年5月13日

2016年3月期(第116期)  
(2015年4月1日～2016年3月31日)

# 芦森グループ決算説明資料

連結業績は、売上高51,380百万円、  
営業利益2,071百万円、経常利益1,700百万円、  
親会社株主に帰属する当期純利益1,360百万円、となりました。

<http://www.ashimori.co.jp>



**I . 2016年3月期(第116期)実績  
および  
2017年3月期(第117期)予想**



# 1. 連結業績の概要

**当期業績は、前年同期比で増収、営業利益は倍増**

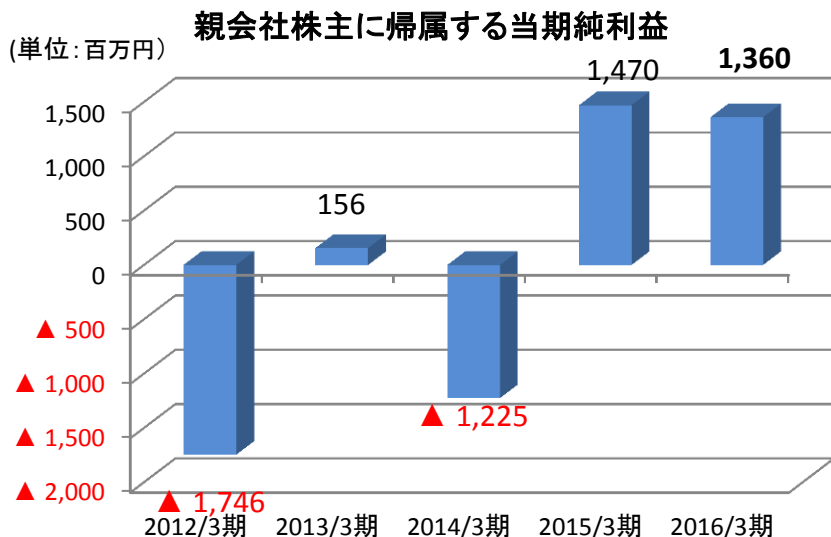
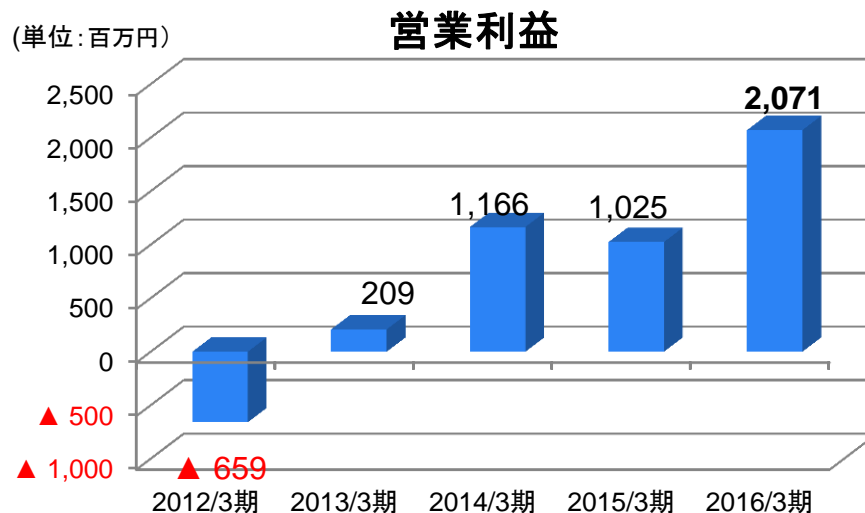
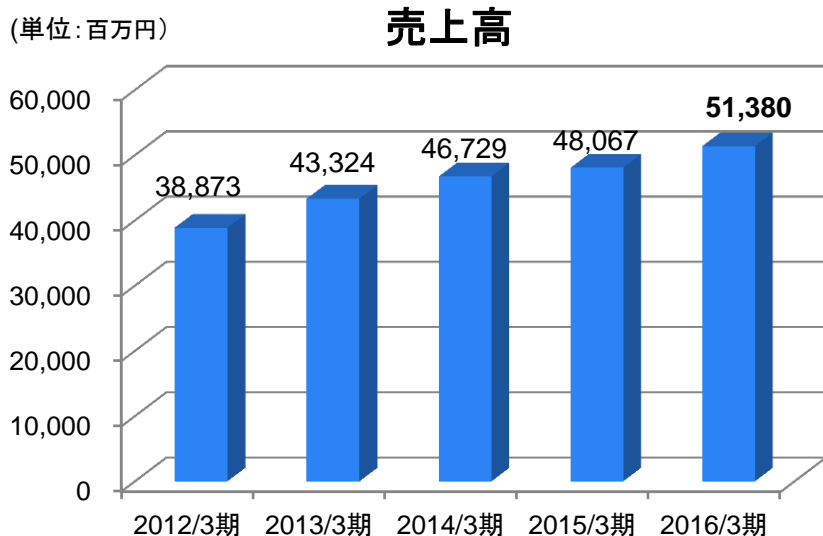
	2014/3期 実績 (百万円)	2015/3期 実績 (百万円)	2016/3期 実績 (百万円)	前年同期比	
				(百万円)	増減(%)
売上高	46,729	48,067	51,380	3,313	6.9%
営業利益	1,166	1,025	2,071	1,045	102.0%
(営業利益率)	2.5%	2.1%	4.0%	1.9ポイント	-
経常利益	1,564	1,306	1,700	393	30.2%
特別損益	▲2,496	347	37	▲310	-
親会社株主に 帰属する 当期純利益	▲1,225	1,470	1,360	▲110	▲7.5%

増収増益の主な要因は下記の通り

- ・自動車安全部品事業における海外拠点の売上拡大および収益改善
- ・機能製品事業における防災関連の「大口径送水用ホース」拡販による収益拡大
- ・営業外為替差損(約4億円)の影響で、経常利益は営業利益よりも増益幅が縮小



## 2. 連結業績推移



- ・売上高は4期連続増収で、通期売上高は過去最高となった。
- ・利益面でも、営業利益が大幅に増加。純利益は、前期実績に特別利益として投資有価証券売却益を計上したため、減益となった。

※自動車安全部品事業の海外展開により順調に業容を拡大。



### 3. セグメント別業績の概要

		2015/3期 実績 (百万円)	2016/3期 実績 (百万円)	前年同期比	
				(百万円)	増減(%)
自動車 安全部品 事業	売上高	35,932	38,444	2,512	7.0%
	営業利益	904	1,830	926	102.4%
	(営業利益率)	2.5%	4.8%	2.3ポイント	-
機能製品 事業	売上高	12,122	12,927	805	6.6%
	営業利益	1,228	1,481	253	20.6%
	(営業利益率)	10.1%	11.5%	1.4ポイント	-
調整他	売上高	12	8	▲5	-
	営業利益	▲1,108	▲1,241	▲134	-
合 計	売上高	48,067	51,380	3,313	6.9%
	営業利益	1,025	2,071	1,046	102.0%
	(営業利益率)	2.1%	4.0%	1.9ポイント	-



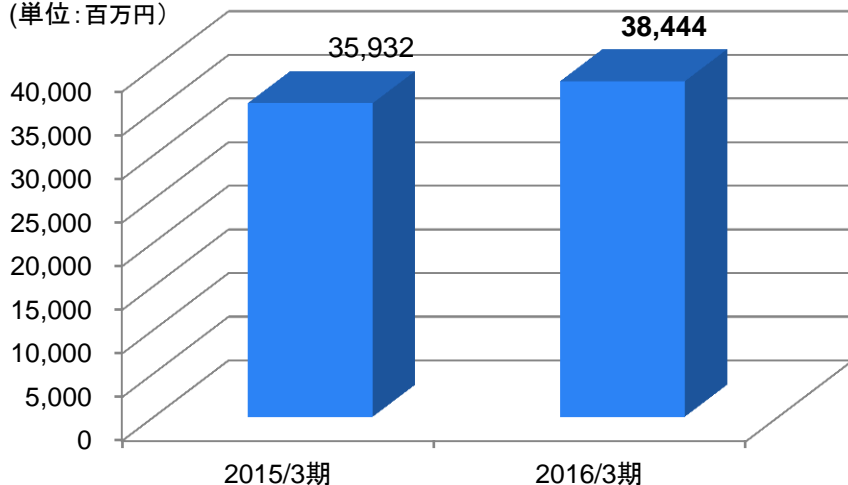
# 4. 自動車安全部品事業 業績概要

2016/3期

売上高 (前年同期比 7.0%増↑)  
 営業利益 (同比 102.4%増↑)

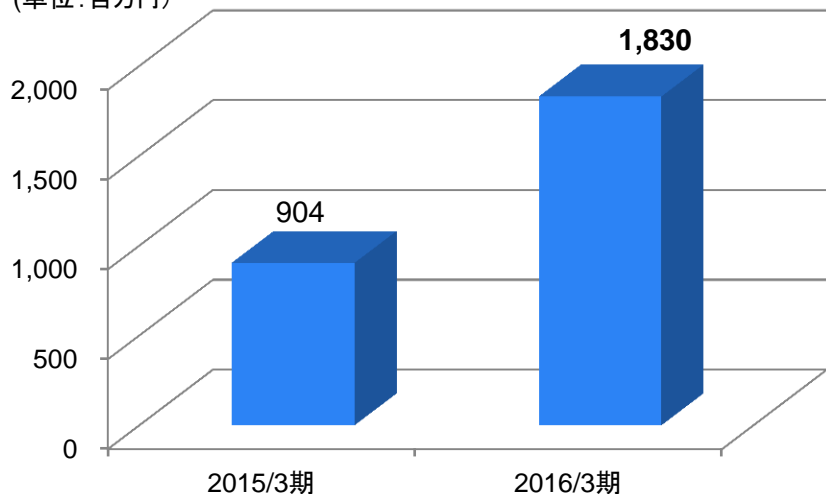
連結売上高

(単位:百万円)



連結営業利益

(単位:百万円)



<業績概要>

・シートベルトおよびエアバッグ

国内売上が新車販売の低迷による減産等の影響を受け減少も、海外売上が新規車種の立上げ等により増加し、売上合計では増加。

ステアリングホイール

国内の受注車種が増加し、売上が増加。

・内装品その他

海外も含め順調に推移し、売上が増加。

・利益面

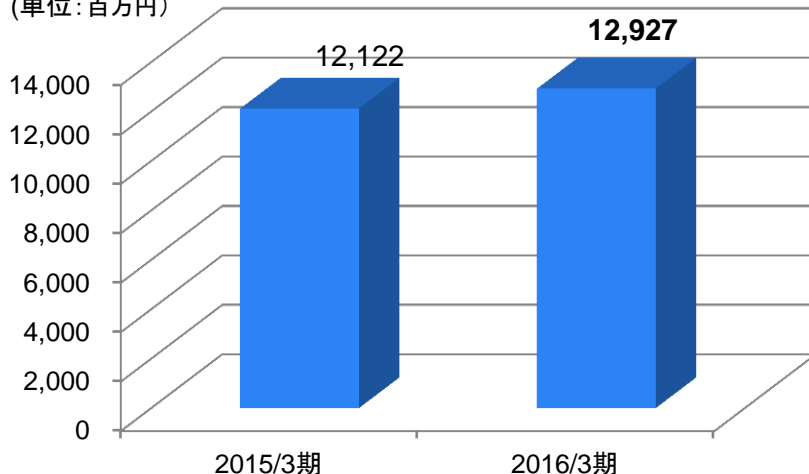
一昨年来の海外拠点の生産効率向上や品質改善等の効果もあり、メキシコ・タイ・韓国の現地法人の業績が改善。



## 5. 機能製品事業 業績概要

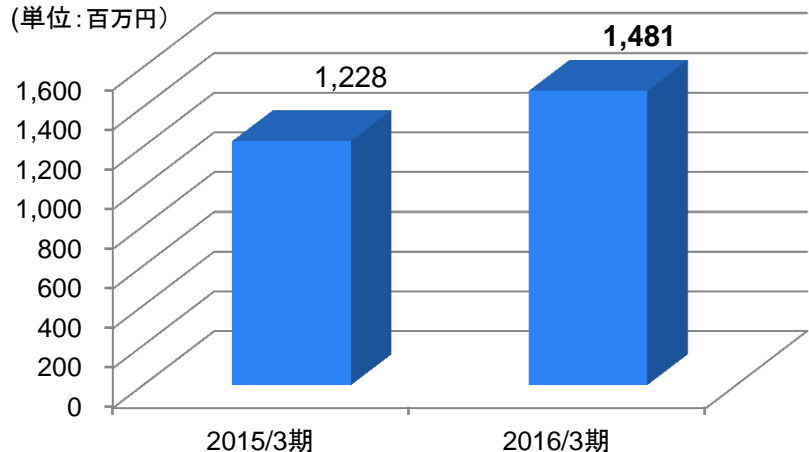
### 連結売上高

(単位:百万円)



### 連結営業利益

(単位:百万円)



**2016/3期**

売上高 (前年同期比 6.6%増↑)

営業利益 (同比 20.6%増↑)

#### <業績概要>

##### ・パルテム関連

公共投資が弱い動きのため受注時期が遅れたことや、緊急排水ホースの需要が減少したことにより、売上が減少。

##### ・産業資材関連

物流省力化関連商品の売上が増加したものの、高機能資材織物(タイミングベルト関連)の国内外の需要低迷により、売上は横ばい。

##### ・防災関連

消火栓用ホースの交換需要に加え、大口径送水ホースが好調に推移し、売上が大幅に増加。

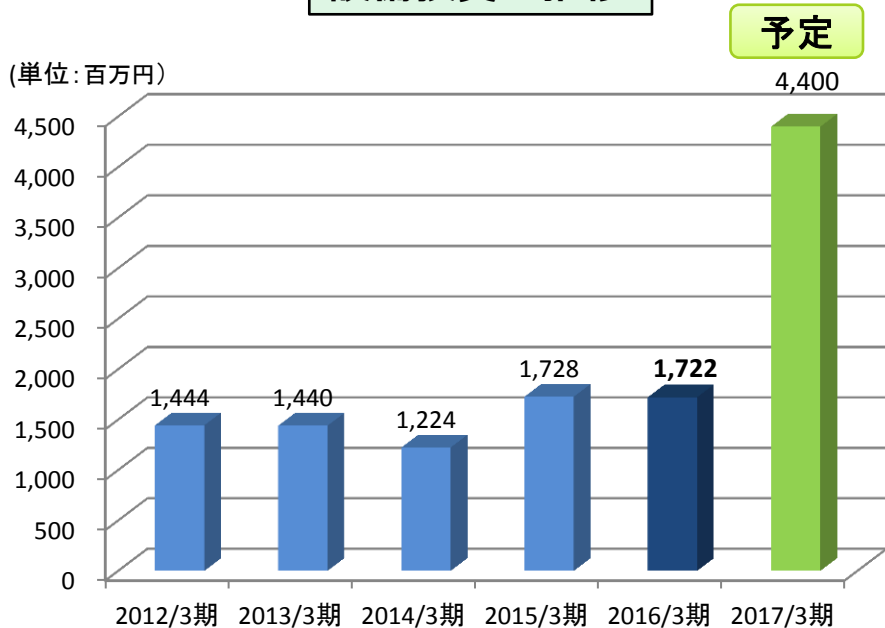
※パルテム(Pipeline Automatic Lining system)

…ライフライン(上下水道・ガス等)の管更生事業

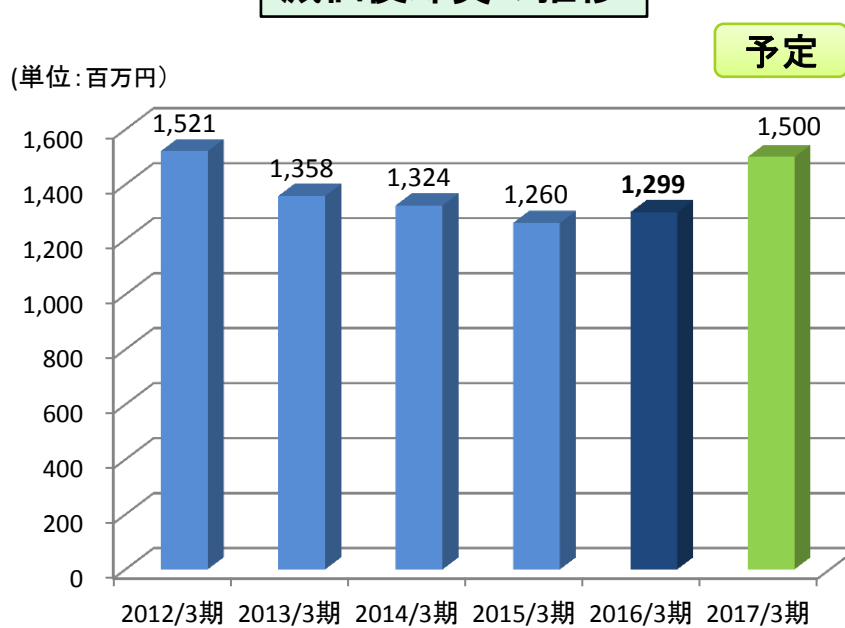


## 6. 設備投資・減価償却費の推移

設備投資の推移



減価償却費の推移



当期の設備投資は合計 17億円強。  
 (うち、自動車安全部品事業 15億円、機能製品事業 1億円)  
 主な投資内容は、韓国現地法人の新工場建設 約 5億円など。  
 次期の設備投資は約 44億円の予定。  
 (うち、自動車安全部品事業 34億円、機能製品事業 8億円)  
 主な投資内容は、メキシコ現地法人の第2工場建設 約 12億円など。





## 7. 連結B/S

(単位:百万円)

	2015/3期	2016/3期	前期末比
流動資産	24,066	23,604	▲ 462
固定資産	12,869	12,859	▲ 9
資産合計	36,935	36,464	▲ 471
有利子負債	9,597	8,833	▲ 763
その他負債	14,501	14,052	▲ 448
負債合計	24,098	22,886	▲ 1,212
株主資本	12,114	13,319	1,204
資本金	8,388	8,388	0
資本剰余金	1,632	1,632	0
利益剰余金	2,097	3,306	1,208
自己株式	▲ 4	▲ 8	▲ 4
その他の包括利益累計額	694	231	▲ 463
非支配株主持分	27	27	0
純資産の部合計	12,837	13,577	740
負債及び純資産の部合計	36,935	36,464	▲ 471
自己資本比率	34.7%	37.2%	2.5ポイント

- ・流動資産は、棚卸資産、売上債権の減少により減少。
- ・有利子負債は、キャッシュフローの改善により減少。  
収益改善により自己資本比率も改善。  
なお、2015年9月のシンジケートローン契約満了を受け(総額100億円)、その後の資金調達は各金融機関との相対契約へ変更。  
同時に、中期的な資金需要と金利水準の動向を勘案して長期資金を導入。
- ・その他負債は、買入債務の減少により減少。



## 8. 連結C/F

(単位:百万円)

連結キャッシュフロー-計算書(要旨)	2015/3期	2016/3期	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,444	3,241	4,685
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 594	▲ 1,495	▲ 901
財務活動によるキャッシュ・フロー	615	▲ 951	▲ 1,567
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	▲ 1,305	639	1,945
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	2,503	3,143	639

- ・「営業活動によるキャッシュフロー」  
棚卸資産や売上債権の減少などにより、前期比で改善。
- ・「投資活動によるキャッシュフロー」  
前期に投資有価証券の売却収入約9億円があり、前期比で支出増加。
- ・「財務活動によるキャッシュフロー」  
有利子負債の返済により、前期比で支出増加。
- ・トータルの資金収支は、「営業活動によるキャッシュフロー」の改善により黒字化。



## 9. 2017年3月期(第117期)連結業績予想

前期比で増収増益の予想  
収益拡大に向けた投資の影響により、営業利益は微増

	2016/3期 実績 (百万円)	2017/3期 予想 (百万円)	前年同期比	
			(百万円)	増減(%)
売上高	51,380	52,000	620	1.2%
営業利益	2,071	2,100	29	1.4%
(営業利益率)	4.0%	4.0%	-	-
経常利益	1,700	2,000	300	17.6%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,360	1,500	140	10.3%



## 10. 2017年3月期(第117期)セグメント別業績予想

		2016/3期 実績 (百万円)	2017/3期 予想 (百万円)	前年同期比	
				(百万円)	増減(%)
自動車 安全部品 事業	売上高	38,444	37,500	▲944	▲1.6%
	営業利益	1,830	1,900	70	3.8%
	(営業利益率)	4.8%	5.1%	0.3ポイント	-
機能製品 事業	売上高	12,927	14,500	1,573	12.5%
	営業利益	1,481	1,400	▲81	▲5.5%
	(営業利益率)	11.5%	9.7%	▲1.8ポイント	-
調整他	売上高	8	5	▲3	-
	営業利益	▲1,241	▲1,200	41	-
合 計	売上高	51,380	52,000	620	1.9%
	営業利益	2,071	2,100	29	1.4%
	(営業利益率)	4.0%	4.0%	-	-



## 11. 自動車安全部品事業の重点施策

### 業績予想

売上高	37,500 百万円	(前期比 ▲1.6%)
営業利益	1,900 百万円	(前期比 3.8%)

### 2017年3月期(第117期)の重点施策

- ①グローバル生産販売体制の強化
  - ・芦森韓国新工場の軌道化、芦森メキシコの工場増設
  - ・欧州への販売拠点設置
- ②次世代商品の開発
- ③コスト競争力の強化
  - ・自動組立による生産合理化
  - ・現地調達化の推進



## 12. 機能製品事業の重点施策

### 業績予想

売上高	14,500 百万円	(前期比	12.5%)
営業利益	1,400 百万円	(前期比	▲5.5%)

### 2017年3月期(第117期)の重点施策

#### ①海外拡販による事業拡大

- ・パルテム、防災 → 北米、台湾、モンゴル、ロシア
- ・産業資材 → 中国、ASEAN

#### ②新商品の開発強化

- ・パルテム、防災 → 次世代パルテム、大口径送水システム  
(次期以降の業績貢献への布石)
- ・産業資材 → 油中ベルト

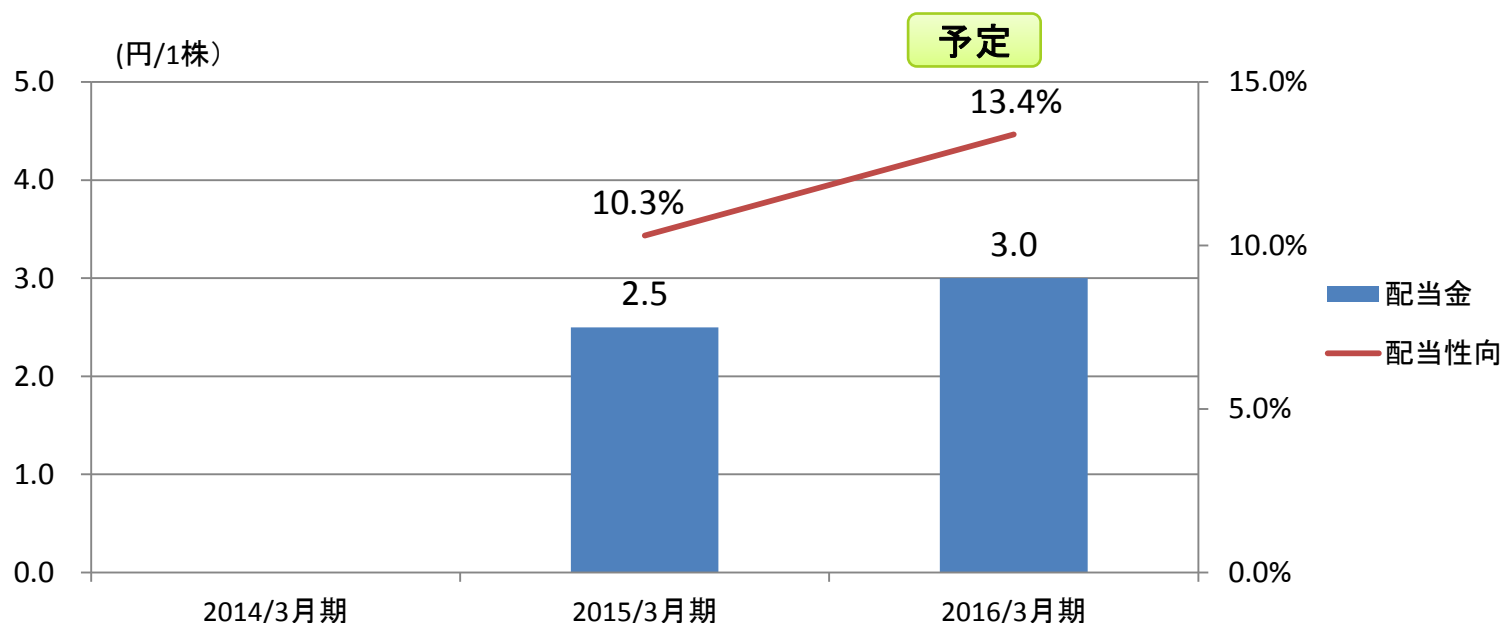


## II. 資本政策・株主還元方針



# 13. 配当推移

2016年3月期は1株あたり3.0円を予定(0.5円増配)



	2014/3月期	2015/3月期	2016/3月期
配当金(円/1株)	無配	2.5	3.0
配当性向	-	10.3%	13.4%





## 14. 資本政策、株主還元について

資本政策については、成長投資と安定的な株主還元をバランスよく配することを志向いたします。

成長投資については、中長期的な企業価値向上に向け、研究開発、設備投資、人材投資、M&Aなどを積極的に実行してまいります。

株主還元については、利益水準に応じて配当水準を引き上げていくことを基本方針とします。



## III. トピックス、参考資料

## 15. トピックス

韓国現地法人 ASHIMORI KOREA CO.,LTD. では、今後の業務拡大に向けて、韓国江原道原州市に自社工場を新設し、2016年3月に操業を開始しました。



▲外観図



▲竣工式

### 新工場の概要

#### (1)建設場所

韓国江原道原州企業都市開発区域

#### (2)工場面積

敷地面積 9,200㎡  
建屋面積 2,600㎡

#### (3)投資総額

約10億円

#### (4)操業開始

2016年3月(3月11日に竣工式を開催)

#### (5)主な事業内容

自動車用シートベルト・エアバッグ・  
内装品等の製造・販売

## 製品のご紹介(自動車安全部品事業)



▲シートベルト



▲エアバッグ



▲トノカバー(フロントカバー付タイプ)



▲手動ドアシェード

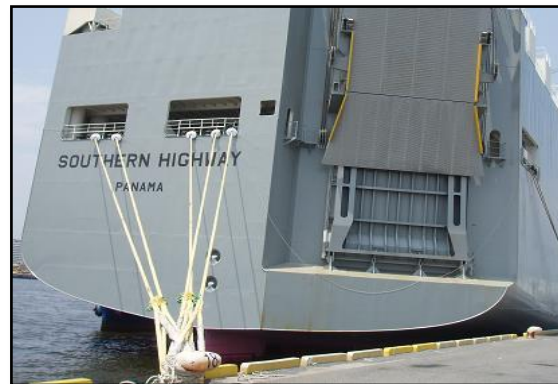
### 事業内容

自動車用シートベルト、エアバッグ、ステアリングホイールおよび内装品等の製造・販売

## 製品のご紹介(機能製品事業)



▲パルジェット(緊急排水ホース)



▲船舶用ロープ



▲低圧損消防用ホース

### 事業内容

高機能資材織物、細巾織物および各種合繊ロープ、消防用ホース、消火栓用ホース、工業用ホースおよび防災用品等の製造・販売、管路補修用ホース等の製造・販売およびその工事



## 芦森グループ 社是

1. 信用を重んじ、堅実を旨とする
2. 人の和と開かれた心で活力ある企業を築く
3. 創意を生かし、社業を通じて社会に貢献する

## 芦森グループ MVV(ミッション・ビジョン・バリュー)

### 【ミッション】

“安全・安心・快適”の提供で、社会に貢献する

### 【ビジョン】

“安全・リニューアル”分野で技術をリードする  
世界に通じる“Small but Excellent Company”

### 【バリュー】

“信用”

“グッド・コミュニケーション”

“チャレンジ精神”



**本資料中の業績予想および見込についての記述は、本決算発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、記載された将来の業績を保証するものではありません。**

**IRに関するお問い合わせ先  
芦森工業株式会社 総務部  
TEL:06-6533-9250  
HP:<http://www.ashimori.co.jp>**